

科目名	性と生殖の形態機能 (Reproductive Anatomy and Physiology)			科目コード	S102
単位数	1単位	選択区分	必修	時間数	15時間
区分	助産学基礎領域	学期	前期	関連DP	
担当教員	草薙 康城				
授業概要	婦人科疾患の病態・疾患に対する考え方および治療戦略について教授する。				
授業目標	助産師として基盤となる女性生殖器の解剖・疾患について修得する。				

授業計画

回	項目	内容
1	女性生殖器の解剖と性分化異常	女性生殖器の解剖 子宮奇形
2	思春期に起こりやすい婦人科疾患と性感染症	ホルモンのバランス異常と月経 月経前緊張症候群、神経性食思不振症 性感染症 (HIV、クラミジア、コンジローマ、淋病)
3	子宮内膜症	子宮内膜症の診断・管理
4	子宮筋腫と卵巣腫瘍	子宮筋腫、卵巣腫瘍の診断管理
5	子宮頸癌の発生・診断・治療	子宮頸部疾患 (腔部ビラン・子宮頸癌) の病態生理と診断法・治療法・予後
6	子宮頸癌の予防	子宮がん検診制度 子宮頸癌予防HPVワクチンの開発と普及
7	婦人科悪性腫瘍の治療戦略	子宮体癌・卵巣癌の診断・治療
8	総合学習	実際の症例提示のもとに、または過去の国家試験 (臨床実地問題形式を主体で) をもとに、これまでに学習したことを生かして、チュートリアル形式で学習を深める
成績評価方法	授業に対する取り組みの積極性 (20%) 筆記試験 (80%)	
教科書	医療情報科学研究所「病気がみえる (vol.9) 婦人科・乳腺外科」 (メディックメディア)	
参考図書等		
授業時間外の学習について		
関連科目		
備考		